

平成16年度東京都食品衛生検査施設GLP内部点検調査報告

三栗谷 久 敏*, 大石 向 江*, 橋本 秀 樹*, 大谷 幸 子*,
牛尾 房 雄*, 山田 澄 夫*, 矢口 久美子**, 長島 建 一***

Report of Internal Audits for GLP in 2004

Hisatoshi MIKURIYA*, Hisae OHISHI*, Hideki HASHIMOTO, Sachiko OHTANI*,
Fusao USHIO*, Sumio YAMADA*, Kumiko YAGUCHI** and Kenichi NAGASHIMA***

Keywords : 適正検査基準 good laboratory practice(GLP), 内部点検 internal audit,
信頼性確保部門 quality assurance unit, 標準作業書 standard operating procedure(SOP)

1. はじめに

近年、日本の食料自給率は30~40%台といわれ、食料・食品の多くを国外に依存せざるを得なくなっている。それに伴い、輸入食品の安全性に対する国民の不安は高まっており、東京都では、東京都食品安全条例を制定し、東京都食品安全情報評価委員会を設置する等、食品の安全性の確保を目的とした様々な取り組みを行っている。

このような状況下で食品衛生検査施設における検査は、食品衛生行政の科学的裏付けとしてその役割はますます重要となっており、検査施設における正確で迅速な検査体制の確立は急務である。

東京都における食品衛生検査施設に対する業務管理、Good Laboratory Practice (GLP: 適正検査基準) の実施は7年目を迎え、これまでに検査結果の信頼性確保のため、検査体制の充実と精度管理の徹底が図られてきた。

当室では東京都の食品衛生検査施設に対する信頼性確保部門として、内部点検を実施すると共に、内部精度管理調査結果の確認及び外部精度管理調査結果を把握し、検査が適正に実施され信頼に足るものであることを検証する業務を行ってきた¹⁻⁶⁾。

本報では当室が実施した平成16年度の東京都食品衛生検査施設に対する内部点検の結果について報告する。

2. 対象施設

内部点検の対象施設を表1に示した。検査実施施設として健康安全研究センター(検査部門)21施設と今年度より点検を行うことになった産業技術研究所1施設の計22施設、収去及び検査実施施設として市場衛生検査所4施設及び芝浦食肉衛生検査所2施設、収去実施施設として健康安全研究センター(収去部門)2施設及び東京都保健所7施設、試験品受付事務実施施設として健康安全研究センター(事務部門)2施設、電子データ等に関する管理施設として健康安全研究センター(情報管理部門)1施設の計40施設を対象とした。

設、試験品受付事務実施施設として健康安全研究センター(事務部門)2施設、電子データ等に関する管理施設として健康安全研究センター(情報管理部門)1施設の計40施設を対象とした。

3. 点検方法

内部点検は平成9年1月16日付厚生省生活衛生局食品保健課長通知「食品衛生検査施設における検査等の業務管理要領⁷⁾」(平成16年3月23日付一部改正⁸⁾)に定める管理基準及び東京都における内部点検実施要領^{9, 10)}、さらに各検査施設が別途定めた標準作業書等に従い、平成16年7月28日から12月10日までに実施した。

点検結果は内部点検記録簿に記録し、保管した。また、改善措置を要請した施設から改善措置の報告を受けた後、講じられた改善措置の確認を行って、その記録を保存した。

4. 点検項目

今年度の主な点検項目を表2に示した。

今回の内部点検では、特に重点項目は設けず、各種標準作業書の整備状況、試験品の収去や送付、検査等に関する管理簿、記録簿への適切な記載・記録を中心に実施した。すなわち、収去実施施設に対しては試験品の採取及び搬送方法、検査結果通知書に関する点検、検査実施施設に対しては試験品の管理、検査等の実施及び結果、成績書、試薬等及び機械器具の管理、内部精度管理及び外部精度管理などの項目に関する点検を行った。収去及び検査を共に実施している施設に対しては、収去実施施設と検査実施施設の両点検項目を併せて実施した。また、試験品受付事務施設に対しては、試験品の受領及び検査結果通知書に関する点検、電子データ等の管理施設に対しては電子データの修正

* 東京都健康安全研究センター精度管理室 169-0073 東京都新宿区百人町3-24-1

* Tokyo Metropolitan Institute of Public Health
3-24-1, Hyakunin-cho, Shinjyuku-ku, Tokyo 169-0073 Japan

** 東京都健康安全研究センター環境保健部水質研究科

*** 東京都福祉保健局健康安全室

表 1. 内部点検対象施設及び実施日

施設名	点検実施日	施設名	点検実施日
<u>健康安全研究センター</u>		<u>健康安全研究センター</u>	
企画管理部		多摩支所	
計画調整課		庶務課	
業務係	10月7日	事業担当	11月5日
微生物部		理化学研究科	
食品微生物研究科		衛生化学研究室	9月17日
食品細菌研究室	10月14日	食品化学研究室	9月17日
腸内細菌研究室	12月10日	微生物研究科	
真菌研究室	10月13日	衛生細菌研究室	11月5日
乳肉魚介細菌研究室	8月27日	広域監視課	11月16日
病原細菌研究科			
疫学情報室	10月25日	<u>市場衛生検査所</u>	
食品化学部		検査課(微生物)	10月1日
食品成分研究科		検査課(理化学)	10月1日
食品分析研究室	9月16日	大田出張所	10月8日
栄養研究室	12月8日	足立出張所	10月28日
バイオ応用食品研究室	12月3日		
天然化学研究室	12月6日	<u>芝浦食肉衛生検査所</u>	
中毒化学研究室	10月6日	精密検査係	7月30日
食品添加物研究科		八王子支所	10月20日
食品添加物第一研究室	12月1日		
食品添加物第二研究室	9月1日	<u>保健所</u>	
食品添加物第三研究室	11月25日	西多摩保健所	9月13日
添加物製剤研究室	9月6日	秋川地域センター	9月13日
容器包装研究室	7月28日	八王子保健所	10月22日
残留物質研究科		南多摩保健所	11月11日
農薬分析第一研究室	8月25日	町田保健所	10月22日
農薬分析第二研究室	11月30日	多摩立川保健所	11月26日
動物用医薬品研究室	10月4日	武蔵野三鷹地域センター	11月26日
医薬品部		多摩府中保健所	8月5日
微量分析研究科		多摩小平保健所	11月8日
有害物化学研究室	11月9日		
広域監視部		<u>産業技術研究所</u>	11月15日
食品監視指導課	11月2日		

表2. 主な内部点検項目

A. 各責任者の役割分担	
1) 部門責任者	: 検査結果通知書の確認, 通知の承認 標準作業書の作成及び改訂の承認
2) 検査区分責任者	: 標準作業書の作成及び改訂並びにその保管 試験品収去, 収去方法の確認 試験品の取扱い, 保管の確認 試験品送付の確認 機械器具, 試薬等の管理の確認 検査等の方法の選定 検査等の実測値, 結果の確認 標本, データ, 検査結果通知書の控えの保管
3) 食品衛生監視員	: 機械器具の保守点検の記録, 保管 試験品の採取, 採取方法, 外観の記録 試験品の搬送条件, 保存条件の記録 試験品送付の記録 検査結果通知書の確認, 控えの保管
4) 検査担当者	: 試験品の取扱い, 保管の確認 機械器具, 試薬管理の確認 検査等の方法の選定 検査等の実測値, 結果の確認 標本, データ, 検査結果通知書の控えの保管
B. 機械器具, 試薬等管理担当職員の指定	
1) 機械器具の必要事項の確認	
2) 試薬, 試液, 標準品, 標準液, 標準菌株, 培地等の必要事項の確認	
C. 標準作業書の保管管理, 活用	
1) 食品衛生監視員及び検査担当者による活用方法	
2) 作成状況, 改訂の承認及び信頼性確保部門への提出	
D. 記録簿等の内容	
1) 作成, 保管, 活用状況	収去証, 試験品送付書, 試験品管理簿, 検査実施記録簿, 結果表, 生データ, 検査結果通知書, 機械器具等使用時点検記録簿, 機械器具等定期点検記録簿, 機械器具等定期点検計画表, 機械器具等異常時点検記録簿, 標準品・試薬・培地等管理簿, 標準溶液・試液・生培地等管理記録簿, 標準菌株管理記録簿
2) 容易に改ざんできない方法での記入と押印の有無	
3) 異常データへの対応, 措置の記録	
E. 試験品の収去	
1) 試験品採取	完成品か中間品かの確認 ロットを代表し, かつロットを混合しない方法での採取 検査に十分な量の採取 他物の混入, 二次汚染のない方法での採取 採取時の温度確認 試験品保管場所の温度の確認 滅菌済み器具等による無菌的採取, 手指の消毒 分割採取時の他物混合, 汚染のない採取 原料分割採取時の元包装等の外観, 表示等の確認 被収去者の立会または確認のもとでの採取 破損, 汚染を予防する方法に基づいた収去バッグへの収納
2) 試験品の搬送	他物からの汚染, 混入防止 他試験品への汚染防止 保存方法に従った搬送 搬送時間の確認, 記録 試験品の温度管理 (搬送前, 到着時の確認)

表3. 内部点検の結果に基づく要改善事項

	改善を必要とする事項	平成16年度 該当施設数 (施設総数40)	平成15年度 該当施設数 (施設総数44)	平成14年度 該当施設数 (施設総数52)	平成13年度 該当施設数 (施設総数48)	平成12年度 該当施設数 (施設総数54)	平成11年度 該当施設数 (施設総数54)	平成10年度 該当施設数 (施設総数42)	
試験品の 採取／ 搬送／ 受領／ 検査／ 検査／ 成績 通知等	未整備の標準作業書, 管理簿, 記録簿の早期整備	4	6	7		5	4	5	
	新規作成あるいは改定した標準作業書の信頼性確保部門責任者への速やかな提出						2	3	
	管理簿, 記録簿, 結果表における重複項目の整理						1		
	標準作業書の改訂版の活用						1		
	標準作業書の日常的な活用							1	
	試験品採取における同種試験品の正確な区別						1		
	試験品分類名の正確な記入						2		
	取去証の正確な記載(取去数量, 取去項目, 訂正印もれの防止)		1	1	1				
	送付書及び成績書の管理の不徹底		1						
	送付書の誤入力及びデータ変更記録簿への誤記載		1						
	試験品の搬送に関する確認と記録の徹底(搬送時間の管理等)		5	2	1		7		
	試験品受領時における試験品と送付書(仮送付書を含む)内容の確認の徹底						1	1	
	試験品のGLP対応外検査の理由の明記							2	
	試験品管理簿の様式の不整備		1						
	試験品管理簿における試験品の保存方法の明記						1	2	2
	試験品受領時における試験品の異常有無の確認及び記録						1	2	2
	試験品の移動に関する確認と記録の徹底						1	1	4
	試験品の廃棄日の記録							3	
	試験品を保管期限以前に廃棄する場合の理由の明記							1	2
	試験品管理簿に記載された成績書発行者名の誤記入(書式不整備による)						1		
	試験品管理簿の記載内容の整備(年号の統一化等)						2		
	検査の速やかな実施							1	
	検査の適正な実施の励行(適切な検査方法の採用等)	1					1		
	検査実施標準作業書の遵守								
	検査実施標準作業書の適正化							6	
	検査実施記録簿様式の不備の改善	1	1						
	検査実施記録の不備(記録内容の不足, 記録方法の標準作業書との不一致等)	3							
	検査実施記録簿への SOP No., 試験開始及び終了年月日の記載							2	4
	検査実施記録簿への採取量, 単位の記載						2		
	検査実施記録簿の保管			1					
	検査結果の確実な記録	1		1				2	
	生データ保管の不徹底	2							
	結果表, 生データ等への試験担当者名の記載								8
	生データと試験品の明確な関連づけ			1					
	検査実施記録簿での試験品番号の統一						1		
	検査実施記録簿の補助簿使用の明示化						1		
	電子処理入力時のチェック方法の検討							1	
	データの管理限界逸脱時の対応記録とその保管							1	
	記入漏れ及び誤記入の防止		1				3	20	15
	誤解されやすい表記の防止							1	6
	検査実施記録簿から成績書への転記ミス		1						
成績書への検出限界, SOP No.の記載についての改善								1	
成績書発行日の確実な記載							1		
成績書の遅滞なき発行						1	1		
成績書発行有無の確認方法の改善								1	
成績書控えの適正な管理			1						
記録簿, 成績書におけるデータの有効桁数及び単位の適正な使用							4		
管理簿, 記録簿についての検査区分責任者の確認の励行						1	2	12	

	改善を必要とする事項	平成16年度 該当施設数 (施設総数40)	平成15年度 該当施設数 (施設総数44)	平成14年度 該当施設数 (施設総数52)	平成13年度 該当施設数 (施設総数48)	平成12年度 該当施設数 (施設総数54)	平成11年度 該当施設数 (施設総数54)	平成10年度 該当施設数 (施設総数42)	
試験品の採 取／搬送／ 受領／検査 ／成績通知等	管理簿、記録簿への容易に改ざんできない方法での記載					1	29	36	
	管理簿、記録簿への読みやすい文字での記載					2	10	2	
	管理簿、記録簿への滞りない記載							1	
	GLPに対応した機器の整備			1			1		
	機械器具保守管理標準作業書の不備(記録簿に該当するSOPがない)		3						
	同種機械器具等の独立した管理						1		
	管理すべき機械器具等のリスト化と管理担当者の適切な分担化						1	2	
	機械器具等の異常時点検記録の確実な実施					1	4	1	
	機械器具等の使用時点検の確実な実施				1	2	6	5	
	機械器具等の定期点検計画の作成		2			1	2	4	6
	機械器具等の定期点検の確実な実施			1			2	5	6
	機械器具等の定期点検内容の遵守	1							
	機械器具等の使用時点検簿、定期点検簿の明確な区別							1	
	機械器具等の保守管理基準の設定				2			2	19
	機械器具等の保守管理基準の適正化				1			2	3
	冷蔵庫、冷凍庫、フラン器等の適切な温度管理及び記録				11		1	3	6
	機械器具等の管理基準外設定時の理由の記録							1	
	機械器具等の点検に関する記録簿の不備の改善	2					1		
	機械器具等管理記録簿へのSOP No.の記載						1		
	機械器具等の定期点検時の生データ確実な保管								
	標準品試薬等管理簿の一部未作成		1						
	試薬、機械器具等管理記録簿についての管理担当者の確認と徹底								1
	試薬等管理簿の改訂版の使用							1	
	試薬等管理簿、ラベルの活用による試薬管理の徹底						1		
	標準品、標準溶液等の使用期限の明記			4	1			3	
	標準品の入手源、入手年月日の明確化							1	
	試薬、機械器具等管理担当者の選任							3	21
	試薬等管理記録簿へのメーカー名等必要事項の記載						1	2	
	試薬等管理記録簿における調製者名の明記								3
	調製した試薬、培地の管理と記録						3		
	標準菌株の確実な管理法の検討							1	
	SOPに基づく試薬管理表への改訂						1		
	SOPに従った試薬管理の徹底						1		
試薬、試液、標準溶液の管理記録簿の整理	1					2	1		
書類の保管方法の改善(書類表題の適正化を含む)							2	24	
各管理簿の記載内容の適切な訂正方法の徹底						1			
各種書類への反放紙不使用の徹底						2			
内部精度管理のZスコア算出の適正化(実測値使用、有効桁数等)						2			
内部精度管理の評価基準による評価の実施と記録の徹底						1			
試験品の受 付	管理簿、記録簿への容易に改ざんできない方法での記載						1	1	
	研究室における試験品受け取り確認印の必要性についての検討						1	1	
	検査成績書発行の遅滞に対するチェック機能の整備						1	1	
	コンピュータシステム障害発生時における迅速な復旧対策							1	
	新システムの改良とマニュアルの早期整備						1		
電子デー タの管理	管理簿、記録簿への容易に改ざんできない方法での記載						1		
	機器等保守管理(定期)記録簿における記録方法の改善						1		
	データ保守マニュアルにおける例示内容の改善						1		
	データ変更依頼における依頼日、依頼者名等のデータ保守管理記録簿への記載						1		
	書類の適切に整理された管理						1		

を含む電子データの管理に関する点検を行った。

5. 点検結果

1) 改善措置を要請した事項等 今年度は40施設中、検査実施施設9施設に対して改善措置を要請した。今回改善措置を要請した事項を平成10～15年度までの結果と共に表3に示した。

改善措置の要請件数は平成13年以降減少しており、GLP対応への理解と進展が認められる。なお、標準作業書や記録簿等の未整備に対する改善措置要請が13年度を除き毎年ほぼ同数みられるが、これは新規検査項目に対応する標準作業書作成の遅延が主な原因と考えられる。

今年度の内部点検においてもGLP関係書類の整備状況は各施設とも概ね良好であったが、新規検査項目に対応する検査実施標準作業書や機械器具保守管理に関する標準作業書が未作成の施設、標準作業書が実際の検査や機器の点検に即していない施設が一部認められた。その他には、検査実施記録簿に必要な事項が網羅されていないなどの様式の不備や検査実施記録簿及び標準溶液管理簿のファイル方法の不備が認められる施設があった。さらに、検査における生データの保管が不徹底な施設もあった。これらの施設に対しては、GLPの基本事項であることから早急に整備、改訂するように改善措置を要請した。

管理簿、記録簿への記載・記録では、機械器具定期点検記録簿や検査実施記録簿の記録方法が標準作業書に準拠していない施設、検査実施の記録内容が不完全な施設がみられ、これらの施設へは検査実施における正確な記載・記録の必要性を説明したうえ、一層の周知徹底を図るよう改善措置要請をした。また、機械器具定期点検記録簿では検査区分責任者確認印が各機器ごとではなく一括して押印

されている施設があり、検査区分責任者による記録簿の適切な確認と責任体制の強化を要請した。

試験品の搬送に関して、特に細菌検査では除去後の搬送時間が6時間を超えて検査施設へ搬入した場合、その間の保管状態の記録やその旨の送付書への記載を行うことになっており、注目したが、特に改善要請の必要な施設はなかった。

除去実施施設のうち、除去品の搬送に関する事項で過去3年間連続して改善措置要請の対象となった1施設では、担当職員の努力によりGLP関連業務に対する理解が進み、それが日常業務に反映された結果、今年度は改善措置の要請事項は認められなかった。

今回改善措置を要請した9施設からは全て改善措置報告がなされ、報告内容については当室へ提出された標準作業書等により確認すると共に、1施設については確認点検を行い、改善措置がなされたことを確認した。

2) 検討及び注意を要請した事項 今年度も点検の際の講評時に口頭で伝えた内容を確認するため、検討及び注意を要する事項として文書による通知を行った。その主な事項を除去実施施設については表4-1、検査実施施設は表4-2に示した。

除去実施施設では、除去証や送付書等の必要事項の記載漏れ、誤記、訂正印漏れ等が全件数中の半数以上を占めていた。特に検査結果通知書に誤記が見られたことは外部に対する信頼を失墜する恐れがあることから強く注意を促した。今年度より除去の根拠となる条文が17条から28条に変わったことより、除去証が改訂されたが、旧様式の除去証が使われていた事例は2施設のみであり、各施設においてその旨がほぼ徹底していたと判断された。

一方、検査実施施設において多く認められた事項として

表4-1. 除去実施施設における主な検討および注意要請事項

要請事項等	施設数
除去証	
必要事項記載漏れ、不適切な記載方法、誤記、訂正印漏れ等	11
旧様式(17条)使用	2
送付書、検査結果通知書等	
必要事項記載漏れ、誤記、訂正印漏れ等	8
検査結果通知書に誤記等	5
記載方法の不統一	2
検査結果通知書の検査部門責任者の承認	1
その他	
搬送温度管理の不徹底、温度計設置箇所の再検討	3
成績書及び被除去者宛て通知書の写しの保管方法の不備	3
管理簿の記載漏れ	1
計測器点検記録簿に記載ミス	1
各種記録簿	
様式等の整備、必要事項記入漏れ・押印漏れ、訂正印漏れ、誤記	3
検査成績書	
成績書に判定等記入漏れ	1
必要事項記入漏れ・押印漏れ	1

表4-2. 検査実施施設における主な検討および注意要請事項

要請事項等	施設数
標準作業書	
検査実施標準作業書における, 分析法の出典等の未記載や記載内容の不備	6
機械器具保守管理標準作業書の加筆, 修正等の検討 (改訂)	2
試験品管理簿	
回し検体に関する情報の未記録, 試験品廃棄記録の不備	2
様式の改善	1
検査実施記録簿・結果表・生データ	
使用培地の記載漏れ	1
反故紙使用, 訂正印漏れ, 転記ミス, 記入漏れ等	8
記録方法の標準作業書からの逸脱	1
検査結果の記載方法が不適切	5
検査実施記録の不備	6
分析時における生データの再現性の確認の欠如	1
生データ (チャート等) の必要記載事項の確認	4
定量操作の確かさを確認するための記録の整備	1
分析, 培養等の条件の再検討	4
送付書, 成績書等	
送付書の消失, 文書の保管方法の改善	2
搬入時刻の不記載	1
検査結果表記法の改善	2
機械・器具	
点検記録簿の不備 (区分責任者確認印漏れ, 不適切な記載方法など)	6
冷蔵庫・冷凍庫・恒温水槽フランジ器・電気炉, 恒温器等の管理・記録方法の改善	7
天秤の使用時点検記録簿の記載事項の不備	6
異常時, 使用時点検記録簿への未記載及び異常時記録簿への修理伝票等の未添付	2
共用分析機器の使用時点検の実施	1
定期点検の未実施, 定期点検記録の表記方法, 点検記録簿の記載漏れ	4
記録簿の保管方法の見直し	1
点検除外機器の妥当性の再確認	1
点検記録簿における点検項目の検討及び標準作業書との相違	3
試薬・培地	
標準溶液の使用期限不記載あるいは使用期限延長時の確認データ未添付	4
記録簿の未整備, 訂正印漏れ, 転記ミス, 記入漏れ等の不備	3
その他	
各種GLP関連書式の整備	1
試験品事故発生時の適切な対応	1

は, ①検査実施標準作業書における分析法の出典等の未記載や記載内容の不備, ②検査実施記録簿・結果表・生データについて, 記録内容や記載方法の不備, 訂正印漏れ, 転記ミスなど, また③機械・器具の保守管理に関する書類に関しては, 検査区分責任者の確認印漏れなど点検記録簿の不備, 冷蔵庫・冷凍庫・恒温水槽・フランジ器等の実測温度や天秤の使用時銅, 実測値の未記入など使用時点検記録簿への記載事項の不備などであった。これらの事項については, 検査時におけるより一層の注意と確認を喚起した。

3) 内部精度管理及び外部精度管理に関する事項 いずれ

も計画に沿って実施され, 記録が保管されていた。

6. まとめ

GLP 制度の導入から本年度で7年を経過し, GLP に対する充実度にまだ施設による差はあるものの, かなり整備されてきたと判断される。特に収去実施施設において改善措置事項が認められなかったことは, 担当職員の地道な努力の賜と思われる。また検査を実施している多くの施設においても, 詳細な適用事項, 注意事項を盛り込んだ標準作業書, 試験・検査の経時的な流れが読み易い検査実施記録簿が作

成され、さらに生データの整備・保管も的確にされており、GLP に対し積極的な取り組みを続けていることが認められた。

一方、内部点検では検査時の立ち会い点検を行うなどの課題も残されており、今後検査実施施設との密接な連携により、早期実現に向けて検討していく必要がある。

多忙な収去や検査を行う業務の中で、GLP 対応に真摯に取り組まれ、成果を上げられた関係各部門に敬意を表するとともに、今後とも都民の信頼に応える食品衛生検査施設として発展することを望むものである。

文 献

- 1) 荻野周三, 蓑輪佳子, 大石向江, 他: 東京衛研年報, **50**, 350-354, 1999.
- 2) 三栗谷久敏, 荻野周三, 蓑輪佳子, 他: 東京衛研年報, **51**, 354-360, 2000.
- 3) 大石向江, 三栗谷久敏, 蓑輪佳子, 他: 東京衛研年報, **52**, 305-310, 2001.
- 4) 大石向江, 前潔, 三栗谷久敏, 他: 東京衛研年報, **53**, 301-306, 2002.
- 5) 大石向江, 三栗谷久敏, 橋本秀樹, 他: 東京健安研七
年報, **54**, 301-306, 2003.
- 6) 橋本秀樹, 大石向江, 三栗谷久敏, 他: 東京健安研七
年報, **55**, 368-371, 2004.
- 7) 厚生省生活衛生局食品保健課長通知: 食品衛生検査実
施施設における検査等の業務管理について, 平成9年1
月16日付衛食第8号, 1997.
- 8) 厚生労働省医薬食品局安全部監視安全課長通知: 食品
衛生検査施設における検査等の業務管理について, 平成
16年3月23日付食安監発第0323007号, 2004.
- 9) 東京都衛生局長通知: 東京都の食品衛生検査施設にお
ける検査等の業務管理要綱, 平成9年3月31日付衛生
食第984号, 1997.
- 10) 東京都衛生局生活環境部長通知: 東京都の食品衛生検
査施設等における検査等の業務管理実施細目, 平成10年
3月31日付衛生食第183号, 1998.